

大学院薬学研究科（薬科学専攻）カリキュラムマップ

広い視野と教養、高度な基礎科学、薬科学の体系的・先端的知識と技能を備え、その活用力を身につけている

薬科学の深い学識に基づき、自由な発想力を創造的に展開して新たな知的価値を創出することができる

科学・技術・社会的課題に複数の解決策を提示でき、将来の課題にも柔軟かつ的確に対応できる高度な解決力を有している

薬科学に関する研究成果を世界に向けて発信できる高い能力を有している

※ 博士後期課程にあっては、原則として3年以上在学して研究指導を受け、授業科目6単位以上を修得して独創的研究成果を学術論文に発表し、これらに基づく博士論文を提出して所定の試験に合格することが必要とされる

D3

博士論文研究

創薬科学の発展に貢献する専門的で独創的な研究を立案、計画、実践し、学術論文や学会発表を通じて社会に成果を発表し還元する

D2

博士論文作成

当該分野における学術的意義、新規性と創造性、研究によってもたらされた知見の科学的検証または証明の妥当性などを有する博士論文をとりまとめて発表する権威ある学術雑誌に査読付き原稿論文を投稿できる段階まで研究を進めることが求められる

D1

特論 創薬分野における最先端の研究内容を履修し、幅広い視点と素養を習得する
先端薬科学特論

演習 プレゼンテーション、論理的思考、問題解決能力を身につける
先端薬科学研究演習II
先端薬科学研究演習I

研究 創薬科学研究に必要な基盤の確立を目指す
専門分野において研究指導をうける

研究発表 研究成果を発信し還元する力をつける
学術論文発表
国内/国際学会発表

自己開発プログラム

自らの職業人生を主体的に構想・設計し、国際社会で活躍できる能力を身につける

短期留学プログラム

国際交流シンポジウム

キャリア形成談話会

薬科学に関する高度な専門知識を習得し、世界水準の薬科学研究を理解することができる

薬科学における個々の専門領域において創造性の高い研究を行う素地ができている

科学・技術の課題に解決策を提示でき、また、将来の課題にも解決策を構想できる

高い倫理性をもって、薬科学の発展に寄与することをめざした行動ができる

薬科学に関して、異なる文化・分野の人々とも円滑にコミュニケーションできる

※ 修士課程にあっては、2年以上在学して研究指導を受け、授業科目30単位以上を修得して修士論文を提出し、所定の試験に合格することが必要とされる

M2

修士論文研究

創薬科学に関する研究を実施し、専門的知識に基づいた論理的説明能力と研究遂行力を身につける

修士論文作成

当該分野における学術的意義、新規性、創造性を有する修士論文をとりまとめて発表する

研究特論 創薬分野における専門知識や理論を身につける

基盤有機化学特論 I 基盤生物化学特論 I
基盤有機化学特論 II 基盤生物化学特論 II
基盤物理化学特論 I 基盤医療薬科学特論 I
基盤物理化学特論 II 基盤医療薬科学特論 II

演習 プレゼンテーション、論理的思考、問題解決能力を身につける

基盤薬品創製化学演習 基盤薬品機能統御学演習
基盤薬品創製設計学演習 基盤生体分子薬学演習
基盤生体機能薬学演習 基盤生体情報薬学演習
基盤薬品動態医療薬学演習 基盤病態機能解析学演習
基盤精密有機合成化学演習 基盤生体機能化学演習
基盤生理活性制御学演習 基盤神経機能制御学演習
基盤医療薬科学演習 基盤薬科学特別演習

実験 研究立案・遂行・問題解決能力を身につける

基盤薬品創製化学実験 基盤薬品機能統御学実験
基盤薬品創製設計学実験 基盤生体分子薬学実験
基盤生体機能薬学実験 基盤生体情報薬学実験
基盤薬品動態医療薬学実験 基盤病態機能解析学実験
基盤精密有機合成化学実験 基盤生体機能化学実験
基盤生理活性制御学実験 基盤神経機能制御学実験
基盤医療薬科学実験

実習 学習計画の立案能力や指導法を身につける

基盤薬品創製化学実習 基盤薬品機能統御学実習
基盤薬品創製設計学実習 基盤生体分子薬学実習
基盤生体機能薬学実習 基盤生体情報薬学実習
基盤薬品動態医療薬学実習 基盤病態機能解析学実習
基盤精密有機合成化学実習 基盤生体機能化学実習
基盤医療薬科学実習

M1

導入教育

創薬研究に関連する分野の現状を把握し、研究遂行に必要な基本的知識を身につける

創薬有機化学概論
基盤有機化学実験技術

創薬生命科学概論
基盤物理化学実験技術

創薬医療薬科学概論
基盤生物化学実験技術

創薬物理化学概論
基盤医療薬科学実験技術

自然科学、生命科学、医療薬学に関する基本的な知識と技能